

vol.

Governor's 09

Monthly Communication

2026.03.01

Rotary International District 2690

2025-26

2025-26年度
国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレッツォ
国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2025-26年度地区ガバナー 坂口 元昭



橋本興家「木蓮 花連作の内」

- 水と衛生月間に寄せて……………02
- はじめての月信寄稿にあたって……………03
- 国際協議会報告……………04
- 次年度地区補助金申請について……………05
- 第10・第11グループIM開催報告……………06
- 年間行事表……………07
- 地区だより……………08
- 会員数報告(1月)……………10

Rotary
District 2690



よいことの
ために
手を取りあおう

水と衛生月間に寄せて

地区ガバナー

坂口 元昭



日頃より、各クラブの皆さまには、地区活動への深いご理解と力強いご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆さま一人ひとりの地道な奉仕の積み重ねが、地域の信頼を育み、ロータリーの存在価値を確かなものに行っていることを、改めて実感しております。

さて、3月は「水と衛生月間」です。水と衛生は、すべての人の生命と尊厳を支える、最も基本的で、かつ欠かすことのできない基盤です。しかし世界に目を向けると、いまなお安全な飲料水を得られない人々や、適切な衛生環境が整わない中で生活を余儀なくされている人々が数多く存在します。汚れた水や不十分な衛生環境は、感染症の蔓延や乳幼児の死亡率の上昇、教育機会の損失など、さまざまな社会課題を引き起こしています。

一方で、水と衛生の問題は、日本に暮らす私たちにとっても、決して他人事とは言えない課題です。自然災害の多い日本においても、上下水道の整備状況や自治体の財政力、人口構成の違いなどにより、地域によって水や衛生環境を取り巻く状況には差が生じています。日常では当たり前のように使っている水が、実は多くの努力と仕組みによって支えられていることを、私たちは忘れてはなりません。

ロータリーは、長年にわたり「水と衛生」を重点分野の一つとして掲げ、井戸の整備や給水設備の設置、衛生教育の普及など、持続可能な支援に取り組んできました。重要なのは、単に設備を整えることではなく、その地域の人々が主体となり、将来にわたって使い続けられる仕組みを築くことです。そこ

にこそ、ロータリーの奉仕の本質があります。

本年度、私は「よいことのために、手を取り合おう」というメッセージを掲げています。水と衛生の分野は、まさにこの言葉を体現する取り組みです。一人の力では成し得ないことも、志を同じくする仲間が手を取り合うことで、確かな成果へとつながっていきます。クラブの規模や活動内容はそれぞれ異なりますが、できることは必ずあります。身近な地域の水環境や衛生意識に目を向けることも、その第一歩です。

水は命をつなぎ、衛生は人の尊厳を守ります。その当たり前を、当たり前として次の世代へ引き継いでいくことが、私たちロータリアンに託された役割ではないでしょうか。3月の「水と衛生月間」を機に、あらためて奉仕の原点を見つめ直し、仲間とともに、よいことのために歩みを進めてまいりましょう。

はじめての月信寄稿にあたって

地区ガバナーノミネー

高山 眞司 (岡山東RC)



このたび、ガバナー・ノミネーとして初めてロータリー月信に寄稿させていただきます。日頃より2690地区の活動にご尽力いただきありがとうございます会員の皆さまに、心より敬意と感謝を申し上げます。

2690地区は、岡山・鳥取・島根という三県にまたがり、瀬戸内と山陰という異なる風土を併せ持つ、全国的にも特色ある地区です。都市部のクラブもあれば、地域に密着した小規模クラブもあり、その一つひとつが、それぞれの地域で確かな役割を果たしておられます。

距離のある地区だからこそ、移動の大変さや環境の違いを感じる場面もあります。しかしその一方で、IMや地区行事で顔を合わせたときの距離の縮まり方、つながりの強さは、2690地区ならではの魅力だと感じています。「顔の見える地区」であることは、

私たちの大きな財産です。

ガバナー年度を見据える立場となった今、私が大切にしたいのは、地区が前に出ることではなく、各クラブの思いや取り組みが、より生きる形で地区につながっていくことです。地区は方向を示す存在であると同時に、クラブを支え、声をすくい上げる存在でありたいと考えています。

これからの期間は、できる限り多くのクラブを訪れ、現場の声を伺い、2690地区の強みと可能性をあらためて学ぶ時間にしたいと思っております。

その積み重ねが、次の年度を考える上での確かな土台になると信じています。

月信を通じて、地区の動きや想いを共有するとともに、会員の皆さまと同じ目線で歩んでまいります。今後とも、2690地区への変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

国際協議会報告

地区ガバナーエレクト

金谷 晋爾 (玉島RC)



2026年1月8日、新倉敷駅にて、次々期地区副代表幹事の中塚裕和さん、建部淳一さんの見送りを受けて出発しました。羽田からシカゴまでの約11時間強のフライトでは映画鑑賞などで時間を過ごし、シカゴでの乗り継ぎを経て、無事オランダへと到着しました。

本会議の会場は「ローゼン・シングルクリーク」で、その広大な施設に世界中からロータリアンを含め約1,300名が集結しました。

1月11日から15日までの研修期間は、連日朝9時から夜21時頃まで行事や夕食会が組まれる非常にハードなスケジュールでした。分科会はディスカッション方式で行われ、合間には揃いの法被を着用して日本ブースで記念撮影を行うなど、結束を深めました。

1月12日発表された2026-27年度国際ロータリー会長メッセージ「CREATE LASTING IMPACT 持続可能なインパクトを生み出そう」について、オンラインカ・ハキーム・ババラ会長エレクトの講演では、ロータリーの活動が単なる数値的な「成果」ととどまらず、未来へ続く「持続可能なインパクト」を生み出すことの重要性が強調されました。世界や地域社会を変えるだけでなく、会員自身の人生や価値観にも「内なる変化」をもたらすロータリーの力が、具体的な体験談と共に語られました。

講演では、南アフリカの幼児教育やナイジェリアの母子保健プロジェクトが紹介され、地域との協働が世代を超えた長期的な成果を生む好事例として示されました。また、2030年に向けた会員増強目標（ロータリアン125万人、ローターアクター12万5千人）の達成には、多様な背景や考え方を尊重する「包摂」と、誰をも温かく迎え入れる姿勢が不可欠であることが再確認されました。

今年度のRI会長メッセージは「UNITE FOR GOOD」。

次年度は「CREATE LASTING IMPACT」。

表現は違っても、これは別々のメッセージではないと思います。むしろ「同じ方向を向いた連続したメッセージ」と捉えるべきだと思います。

UNITE(団結)は目的ではなく、手段です。力を合わせることで、より大きな「良いこと」を行い、その成果を“未来に残る価値”へと昇華させていく。その到達点こそがIMPACTではないでしょうか。

つながりが信頼を生み、歓迎の姿勢が参加を生み、行動が変化を生むのです。

ロータリーの価値は、そこで生まれる「持続可能なインパクト」にあるのでしょうか。

ババラ会長エレクトの発信は、まさにその一点に集約されていると感じました。

変化とインパクトは異なる。変化は始まりであり、インパクトは持続しなければならないものであるという話が印象的でした

「変化」と「インパクト」は同じようで全く異なり、変化は“きっかけ”、インパクトは“未来に残る結果”なのだ、私も強く感じました。私たちが取り組む奉仕や会員増強も、実施した瞬間の成果で終わらせず、地域の中で根づき、継続し、次の世代へつながっていく形にしてこそ意味があります。

変化に満足するのではなく、その変化を積み重ねて「持続可能なインパクト」に高めていく…。この視点を常に忘れずに行動していきたいと考えます。

次年度地区補助金申請について

次期補助金小委員会委員長

小野 裕之 (玉島RC)



2026-27年度補助金小委員会委員長を務めます玉島ロータリークラブの小野裕之と申します。よろしくお願いいたします。

昨年12月に開催された「次期クラブロータリー財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー」にご参加の皆様、誠にありがとうございました。一部重複いたしますが、以下、主に地区補助金の申請等についてご説明いたします。

ロータリー財団が授与する地区補助金は「地区でよいことをしよう」の精神により計画されたプロジェクトに対して交付するものです。そして、補助金小委員会は各クラブの地区内実施プロジェクトの申請や報告をチェック、サポートする委員会です。

ロータリー財団の補助金の中には「グローバル補助金」と「地区補助金」があります。

グローバル補助金は、七つの重点分野に対し持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動であり、比較的長期にわたるプロジェクトを支援するものです。

それに対し地区補助金は短期間かつ小規模ではありませんが、各地域での奉仕活動を支援するもので、全てのクラブが比較的容易に実施計画の立案が可能なプログラムに対する補助金です。

次年度の地区補助金予算は11万2千ドルで、昨年度と比べると約8千ドルの減額となっております。これは会員数及び財団への寄付金の減少と、近年の円安傾向の影響によります。この点、ご理解を賜りますとともに、なお一層積極的なご寄付をお願いいたします。

今後のスケジュールですが

- ① プロジェクトを立案、事業計画等の申請書類を作成して2026年2月1日から3月末日までに地区ロータリー財団事務所にメールで申請(提出期限の厳守)
- ② 補助金小委員会での書類審査(4月19日の予定)
- ③ 審査後、修正等があれば修正し、会長、会長エレクト、クラブロータリー財団委員長のご署名ののちにPDFで正式申請
- ④ 地区からロータリー財団に一括申請(順調にいけば

5月末)

- ⑤ ロータリー財団より承認されたら当地区に補助金が振り込まれ、確認でき次第、地区から各クラブに送金
- ⑥ ロータリー財団承認後、プロジェクト実施(8月以降にはプロジェクトが実施できるよう進めたいと思います)
- ⑦ プロジェクト実施後、1カ月以内に「地区補助金報告書」他をメールにて仮報告
- ⑧ 補助金小委員会でチェックし修正したものを、実施後2ヶ月以内に関係者のご署名のある報告書類を指定の表記法でファイリングして郵送にて提出

次に地区補助金申請に当たっての主な注意事項です。

- 1) 単なる寄贈ではなく会員が積極的に参加する地区内でのプロジェクトであること
- 2) 受益者は前年と同じではなく、また、ロータリアンやその家族を対象としたものでないこと
- 3) 取引業者にロータリー関係者が含まれる場合は公正な取引であることを証明すること
- 4) 1クラブ1プロジェクトが原則ですが、複数クラブでの共同申請も可
- 5) 1件3万円以上の取引には費用の妥当性を確認するため複数の相見積もりが必要
- 6) プロジェクトの標識、看板の費用は1,000 ドル以下であってもプロジェクトの費用のかかなりの部分を占める金額でないこと
- 7) 原稿料や講演料の源泉徴収が必要な場合は法令に従って適切に処理すること
- 8) ロータリー財団の承認前に発生した費用は認められない(ただし、公共施設の事前予約金を除く)
- 9) 申請額の合計が補助金予算額を上回った場合は申請額を減額することがある

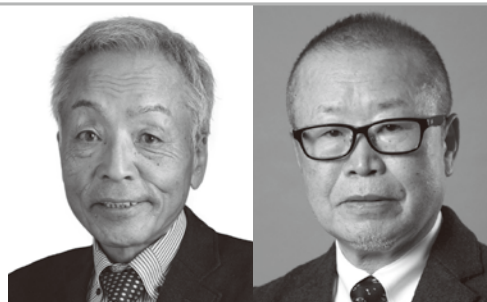
なお、プロジェクト終了後には地区補助金で購入された財産は目録を作成し、保管、設置場所、管理者の決定などを記録してください。

最後に、補助金小委員会では、「できる限り各クラブの計画を実現できるように」という視点で、皆さまをサポートいたします。多くの申請をお待ちしております。

第10・第11グループ I M開催報告

第10グループガバナー補佐 **大岩 道典** (写真左)

第11グループガバナー補佐 **藤澤 敏典** (写真右)



国際ロータリー第2690地区第10・第11グループ合同インターシティーミーティングを地区内の先陣を切って1月18日、岡山コンベンションセンターにて開催いたしました。参加人員は約300名、両グループ会員数の約60%に当たります。

テーマとして掲げたのは二つ。一つ目は、地震大国日本に住むわれわれが、常日頃から何をどう準備して災害に備えれば良いのかを学ぶ機会を持つこと。二つ目は、IMの目的である会員の交流ならびに親睦を図ること。両グループ合同開催の過去のIMでは、その目的が何故か放置されたままになっていた慣習の打破にチャレンジいたしました。

そして、前者では、「災害は必ず来る。災害列島日本～岡山の役割～」を演題に、岡山県玉野市ご出身の作家高嶋哲夫氏と2023-26年度ロータリー公共イメージコーディネーター第2地域を務められている神野正博パストガバナー（第2610地区 七尾RC）をお迎えして、二部構成の講演を拝聴することを企画いたしました。



高嶋氏は、防災、エネルギー、教育関連でのご提言の評価が高い方で、東京一極集中を避ける「遷都論」では、岡山が候補に挙げたことに興味を引かれた参加者も多かったのではないのでしょうか。

また、神野パストガバナーは「ロータリーのマジック～能登半島地震の経験を経て～」を演題に、令和6年能登半島地震が起きる二年前に、ご自分が経営される恵寿総合病院の耐震工事に踏み切られ、震災後も地域医療に多大な貢献をされた実話に加え、万が一の災難に備えた事前の準備の重要性を説かれたことは多くの参加者の心に響いたお話になりました。

地震等の自然災害だけでなく、目の前のリスク、例えば

ロータリークラブの会員数の減少や、会費の上昇等々に、我々ロータリアンはどのような処方箋を持って対処するのが良いか、そのような身近な課題を柔和な語り口でありながら、鋭い刃物で切り付けられるような印象を持たずにはいられない、この方ならではの着想力と行動力に裏付けられたお話をお聞きすることができました。

加えて、もう一つの今回のIMのテーマ、会員の交流と親睦に関しましては、受付後に会場内で、クラブごとに着席するのではなく、大きく6つに色分けしたゾーン内で、講師の提供する課題に対してグループワークができる6人1組の単位に小分けした着席をお勧めする提案を行うことになりました。約25～30分程度のグループワークを神野パストガバナーならびに、実行委員会の主導の下、無事終了し、初めて顔を合わすグループ内会員の交流が図れたものと自負しています。それぞれのテーマは、舞台中央のホワイトボードに貼付され、その個々の内容に基づいた講師からのお話もございました。



何と言っても、IM本会議で最も盛り上がったのは、石川県無形文化財「御陣乗(ごじんじょ)太鼓(だいく)」の演奏です。鬼面をかぶった複数名の演者が入れ替わり、壇上へ上がったたり降壇したりしながら、太鼓の音を響かせます。参加者全員が身を乗り出すようにしながら聞き入り、伝統芸の重みと凄みを感じた20分間になりました。



懇親会は隣接する、ANAクラウンプラザホテル岡山で挙行いたしました。参加者は220名程度に減りましたが、太鼓の熱狂が冷めない内に、ロータリー財団奨学生としてイタリア留学されたテノール歌手 柁木和敬氏とソプラノ歌手2名、ピアノ奏者1名によるオペラコンサートを楽しむことになりました。こちらの配席も、クラブ毎ではなく、本会議グループワークの色分けに応じたものにいたしました。懇親会に参加された皆さまには、時間が短く感じられる程、

新鮮で楽しかったとの評判を耳にすることができました。

講演の内容、御陣乗太鼓、懇親会の雰囲気の評価が高く、ご臨席いただいた松本祐二パストガバナー、菊池捷男パストガバナーをはじめ、たくさんの皆さまからお褒めの言葉を頂戴できたことで、両グループの実行委員会は、準備の労苦に報われた思いがしたと思います。実行委員会の皆さま、お疲れさま、そしてありがとうございました。

年間行事表

年	月	日	行 事	場 所	時 間	
2026	2	1(日)	第3回インターアクト合同会議	AP東京八重洲・オンライン	13:00~16:00	
		7(土)~8(日)	(第4回地区青少年交換委員会)	倉敷シーサイドホテル	13:00	
			青少年交換中四国3地区合同オリエンテーション		~15:30	
			8(日)	第8・第9グループIM	岡山プラザホテル	13:00~18:30
		15(日)	地区米山学友会総会	ANAクラウンプラザホテル米子	11:30~12:00	
			ロータリー米山記念奨学生歓送会		13:00~15:00	
	28(日)	R財団グローバル補助金奨学生選考会	ZOOM	14:00~16:00		
3	1(日)	第6回全国RYLA委員長会議	AP東京八重洲			
		地区チーム・ラーニングセミナー	倉敷国際ホテル	11:00~12:30		
		第5回諮問委員会		13:30~15:00		
		クラブ会長エレクト・ラーニングセミナー 1日目		15:30~17:30		
	懇親会	18:00~19:30				
	8(日)	クラブ会長エレクト・ラーニングセミナー 2日目	倉敷国際ホテル	9:00~15:00		
		第3回次期ガバナー補佐会		15:20~16:30		
	14(土)	第5回地区青少年交換委員会	ANAクラウンプラザホテル米子	13:00~16:00		
		第3回青少年交換派遣学生オリエンテーション(渡航手続き)				
		15(日)	第6グループIM	笠岡グランドホテル	13:30~18:50	
		19(木)	ロータリーの友委員会地区代表委員・Rの友役員合同会議	ビジョンセンター浜松町	10:30~16:20	
		22(日)	第7グループIM	倉敷アイビースクエア	13:00~19:00	
	29(日)	第3・第4・第5グループIM	ホテル一畑	13:00~17:50		
地区リーダー向け会議「ロータリーと危機管理」						
	28(土)~29(日)	青少年交換中四国3地区合同地区外研修会	広島(宮島・平和公園他)			
4	4(土)	ロータリークラブ事務局員研修会・懇親会	料理旅館 鶴形	12:00~15:00		
		クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(旧地区研修・協議会)	倉敷アイビースクエア	11:00~17:00		
	11(土)	大社RC創立65周年記念例会	島根ワイナリー			
		第18回全国RYLA研究会大分会議	J:COMホルトホール大分			
		19(日)	補助金小委員会(地区補助金クラブ提唱プロジェクト一括審査)	ZOOM	10:00~15:00	
		19(日)	第1・第2グループIM	ANAクラウンプラザホテル米子	13:00~17:20	
	25(土)	第2回地区インターアクト委員会	ピュアリティまきび	11:00~12:00		
		インターアクト地区協議会		14:00~18:30		
		26(日)	2026学年度ロータリー米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	米子ワシントンホテルプラザ	12:00~15:30	
		26(日)	第2回ガバナーノミニー・ラーニング・セミナー(GNLS #2)	パシフィック横浜会議センター	13:30~17:00	
	27(月)	クラブ活性化セミナー2026(1日目)	10:00~17:00			
		クラブ活性化セミナー2026懇親会	17:30~19:30			
	28(火)	クラブ活性化セミナー2026(2日目)	9:30~12:00			
		ガバナーノミニー・デジグネットセミナー	13:15~15:30			

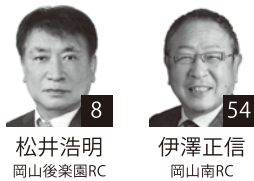
地区だより (2026年1月)

新会員のご紹介



ロータリー財団への寄付

ポール・ハリス・フェロー(ポリオプラスへの寄付)



ポール・ハリス・フェロー(年次基金への寄付)



ポリオプラス・ソサエティ登録者

倉敷RC 森 正博
岡山後楽園RC 那須 保友

クラブ年次基金

智頭RC 100.00 ドル
鳥取中央RC 110.00 ドル (ミリオンダラーミール)
鳥取北RC 420.00 ドル
米子RC 2,150.64 ドル (ミリオンダラーミール)
出雲南RC 11.00 ドル (新会員寄付)
笠岡RC 159.08ドル (ミリオンダラーミール)

クラブポリオプラス

倉吉中央RC 300.00ドル	真庭RC 96.00ドル
鳥取中央RC 107.18ドル	岡山南RC 349.36ドル (END POLIO NOW お茶席募金箱(7月~12月))
境港RC 364.10ドル	岡山南RC 41.81ドル (岡山南RCC事業「全国日本高等学校ゼロハンカー大会」END POLIO NOW募金箱)
米子RC 111.54ドル	岡山西南RC 31.41ドル (1月第1例会BOX)
倉敷南RC 225.00ドル (ミリオンダラーミール)	

法人寄付・年次基金

鳥取RC …………… 三井住友信託銀行(株)鳥取支店(51.28ドル)	鳥取RC …………… 日本銀行 鳥取事務所(25.65ドル)
鳥取RC …………… NTT西日本(株)鳥取支店(51.28ドル)	鳥取RC …………… 農林中央金庫(51.28ドル)
鳥取RC …………… (株)日ノ丸総本社(51.28ドル)	鳥取RC …………… (株)愛進堂(51.28ドル)
鳥取RC …………… (株)ドコモCS中国鳥取支店(51.28ドル)	鳥取RC …………… 日本生命保険相互会社 鳥取支社(51.28ドル)

米山記念奨学会への寄付

米山功労者

 4 牧浦康寛 鳥取西RC	 1 友森昌幸 境港RC	 1 鷺澤美紀 境港RC	 2 稲田泰博 米子RC	 1 平井 始 玉島RC	 1 片山洋太郎 玉島RC	 1 中原隆洋 玉島RC	 2 初村幸蔵 玉島RC	 14 鳶田章信 倉敷南RC
 2 世良 仁 岡山東RC	 4 松井浩明 岡山後楽園RC	 4 内山満義 岡山後楽園RC						

クラブ普通寄付

倉吉中央RC …………… 18,000円	江津RC …………… 112,500円	津山RC …………… 240,000円
倉吉東RC …………… 117,500円	益田RC …………… 74,382円	津山中央RC …………… 19,500円
鳥取中央RC …………… 110,000円	大田RC …………… 57,500円	津山西RC …………… 77,500円
鳥取北RC …………… 105,000円	笠岡RC …………… 141,000円	岡山RC …………… 290,000円
鳥取西RC …………… 130,000円	笠岡東RC …………… 114,000円	岡山東RC …………… 294,000円
米子RC …………… 172,500円	総社RC …………… 30,000円	岡山後楽園RC …………… 127,500円
松江RC …………… 145,000円	玉島RC …………… 75,000円	岡山南RC …………… 453,000円
松江南RC …………… 162,500円	児島東RC …………… 22,500円	玉野RC …………… 75,000円
松江しんじ湖RC …………… 110,000円	倉敷RC …………… 296,000円	岡山城RC …………… 40,000円
平田RC …………… 95,000円	倉敷東RC …………… 120,000円	岡山岡南RC …………… 57,500円
出雲RC …………… 141,250円	倉敷南RC …………… 150,000円	岡山丸の内RC …………… 126,000円
出雲中央RC …………… 122,500円	倉敷瀬戸内RC …………… 55,000円	岡山西RC …………… 177,500円
大社RC …………… 130,000円	美作RC …………… 48,000円	岡山西南RC …………… 137,500円

クラブ特別寄付

鳥取RC …………… 19,800円	(米山ランチ)
出雲南RC …………… 5,000円	(新会員寄付)
岡山西南RC …………… 14,253円	(米山BOX)

法人特別寄付

鳥取RC …………… 三井住友信託銀行(株)鳥取支店(4,000円)
鳥取RC …………… NTT西日本(株)鳥取支店(4,000円)
鳥取RC …………… (株)日ノ丸総本社(4,000円)
鳥取RC …………… (株)ドコモCS中国鳥取支店(4,000円)
鳥取RC …………… 日本銀行 鳥取事務所(2,000円)
鳥取RC …………… 農林中央金庫(4,000円)
鳥取RC …………… (株)愛進堂(4,000円)
鳥取RC …………… 日本生命保険相互会社 鳥取支社(4,000円)

訃報

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈りします。



山本文正 (鳥取西RC)
ご逝去日/2026年1月7日
享年/75
入会日/1981年9月18日



加藤一吉 (鳥取西RC)
ご逝去日/2026年1月16日
享年/95
入会日/1995年12月1日



音田 猛 (米子南RC)
ご逝去日/2026年1月1日
享年/76
入会日/1997年9月29日

出席報告 (2026年1月)

クラブ名	ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数				
			7月1日	1月末日	内女性会員	増減	
第1グループ	智 頭	95.65	3	7	8	0	1
	倉 吉	79.46	3	39	39	3	0
	倉吉中央	61.97	4	18	17	2	▲1
	倉吉東	60.66	4	48	47	5	▲1
	鳥 取	72.39	3	55	55	4	0
	鳥取中央	63.64	2	40	44	3	4
	鳥取北	73.45	3	41	41	7	0
	鳥取西	74.04	2	51	52	2	1
小計(8)	-	-	299	303	26	4	
第2グループ	境 港	69.66	3	48	49	1	1
	米 子	60.39	3	69	68	5	▲1
	米子中央	88.89	2	37	37	2	0
	米子東	76.67	2	109	111	12	2
	米子南	68.25	3	70	78	7	8
	小計(5)	-	-	333	343	27	10
第3グループ	松 江	68.32	3	55	60	1	5
	衛星クラブ	50.00	2	10	11	5	1
	松江東	78.38	3	51	52	3	1
	松江南	65.81	2	63	66	6	3
	松江しんじ湖	77.22	2	40	44	8	4
	隠岐西郷	68.85	3	22	21	0	▲1
小計(5)	-	-	241	254	23	13	
第4グループ	平 田	72.07	3	38	38	2	0
	出 雲	70.91	2	55	56	2	1
	出雲中央	67.35	3	48	49	3	1
	出雲南	74.52	4	77	82	6	5
	大 社	58.50	3	53	53	5	0
	小計(5)	-	-	271	278	18	7
第5グループ	江 津	69.89	4	42	45	3	3
	浜 田	65.00	3	59	61	5	2
	益 田	66.67	3	21	21	2	0
	益田西	69.61	3	33	34	2	1
	大 田	76.81	3	23	23	3	0
	小計(5)	-	-	178	184	15	6
第6グループ	井 原	80.45	4	35	38	2	3
	笠 岡	87.98	4	47	47	3	0
	笠岡東	84.72	4	39	38	2	▲1
	新 見	70.18	3	18	19	2	1
	総 社	66.67	3	12	12	2	0
	総社吉備路	74.03	3	28	25	1	▲3
	高 梁	88.24	3	34	34	1	0
	玉 島	75.96	4	28	30	6	2
小計(8)	-	-	241	243	19	2	

クラブ名	ホームクラブ 出席率 (%)	例会数	会 員 数				
			7月1日	1月末日	内女性会員	増減	
第7グループ	児 島	90.91	2	12	12	0	0
	児島東	94.44	2	9	9	0	0
	倉 敷	84.27	4	71	74	2	3
	倉敷中央	80.00	2	18	18	6	0
	倉敷東	84.78	2	24	24	4	0
	倉敷南	74.34	3	59	60	5	1
	倉敷水島	77.42	2	17	17	0	0
	倉敷瀬戸内	61.02	3	22	22	1	0
小計(8)	-	-	232	236	18	4	
第8グループ	真 庭	75.00	4	32	33	2	1
	美 作	64.79	3	25	24	1	▲1
	津 山	54.74	4	96	98	4	2
	津山中央	82.05	3	12	13	3	1
	津山西	72.09	3	32	31	5	▲1
	小計(5)	-	-	197	199	15	2
第9グループ	備 前	62.26	3	38	41	4	3
	岡 山	79.15	4	107	117	7	10
	岡山東	83.75	4	96	98	3	2
	岡山北西	77.33	3	48	50	5	2
	岡山後楽園	75.68	3	50	51	4	1
	小計(5)	-	-	339	357	23	18
第10グループ	岡山旭川	58.87	4	33	31	1	▲2
	岡山中央	56.48	4	24	27	8	3
	岡山北	62.50	2	51	52	5	1
	岡山南	69.21	3	152	151	22	▲1
	玉 野	67.78	3	24	30	1	6
	小計(5)	-	-	284	291	37	7
第11グループ	岡山備南	67.27	4	21	18	0	▲3
	岡 山 城	66.25	4	20	20	1	0
	岡山岡南	79.17	3	23	25	2	2
	岡山丸の内	66.67	4	43	42	2	▲1
	岡 山 西	61.58	3	64	72	14	8
	岡山西南	82.78	4	55	55	7	0
小計(6)	-	-	226	232	26	6	

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2025年7月1日会員数	2841名
2026年1月末日会員数	2920名
内 女性会員	247名
純増	79名

※7月1日会員数には、7月1日入会の新会員は含まれておりません。
 ※7月1日入会の新会員は、7月末日会員数に含めさせていただきます。
 ご了承をお願いいたします。